

第2章 計画の基本方針と目標水準

2-1 計画の基本理念

2-2 計画テーマの設定と基本方針

2-3 計画のフレーム

2-4 計画の目標水準



2-1 計画の基本理念

緑は都市の環境と人々の生活に深い関わりをもっている。

本 緑の効用は様々であるが、都市内に多様で豊かな緑・オープンスペースが存在することで自然の生態系が保たれ、うるおいと個性あるまち並みの情景が醸成され、都市の安全性が高まり、人々の活発な余暇活動が展開されることとなる。

また、鎌倉市のように自然と歴史的遺産が融和した風土をもつ都市では、こうした風土を構成する緑が市民に住むことの喜びと誇りを与え、来訪者にも香り高い都市イメージを提供することとなる。

鎌倉市緑の基本計画は、このような多様な効用をもつ緑・オープンスペースを都市の中に調和ある形で保全・創造し、市民が生活の豊かさを実感するとともに、風格とうるおいのある質の高い緑のまちづくりを目指すものである。

このためには、市民の共有財産である山・海等の自然環境と歴史的遺産を保全して次代へ継承するとともに、これらの資源が都市の機能と融け合って人・自然・歴史が共生する緑豊かな都市環境を市民とともに創造し、育んでいくことが重要である。

こうした考えに基づいて、ここでは第3次鎌倉市総合計画に掲げられた将来都市像「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」及び都市マスタープランでのまちづくりの基本理念「人と自然・歴史が共存・共生する都市」を受け継ぎ、

山と海の自然と人・歴史が共生する鎌倉

を計画の基本理念と定める。